



都議会議員 吉倉 正美

### ご挨拶

皆様こんにちは、日頃より大変お世話になり、本当に有難うございます。  
心より感謝を申し上げます。10月5日に東京都議会第3回定例会が終了いたしました。  
同じ5日に10の常任委員会が新たに編成され、今回私は、東京都議会「都市整備委員会」の副委員長に就任させていただきました。「都市整備委員会」は、東京全体の都市政策・住宅政策のあり方について審議する委員会です。都営住宅・都民住宅をはじめ、皆様より多くのご要望をいただいております「東京の住宅対策」をしっかりと進めて参ります。皆様の一層のご支援・ご指導を心よりお願い申し上げます。

## 都外在住でも受け入れ可能 羽田空港内の認証保育所を視察

10月17日、都議会公明党は、私をはじめ友利春久、野上純子ほか5名の都議で羽田空港内にある「羽田空港アンジュ保育園」を視察。同園は空港関係者のほか都外在住の乳幼児でも受け入れる都の認証保育所で、オープンは今4月。定員60人のうち、現在は15人が通園しています。年中無休で、保育時間は午前8時から午後9時まで。朝7時からと午後9時からの延長保育も可能。2時間以上の一時預かりも行っていて「地方から上京してきて、到着ゲートを出て直接お子さんを預け、要件を済ませてから迎えに来るケースもある」(愛澤径子園長)視察を終えて私は、先駆的な事例であり、新宿副都心においても同様に、働く母親のための保育所をぜひ設置していくべきと強く感じました。



## 安定した水源確保を 八木沢ダムなどを視察し協議

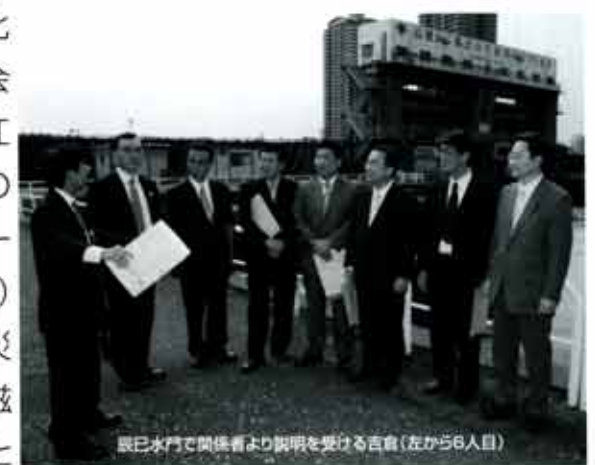
今年前半の少雨で、東京都が利用する水源の約8割を占める利根川水系に設置されている8つのダムの貯水量が、6月初旬には8ダム体制となった1992年以来、最低を記録。その推移を注視してきた都議会公明党は、中嶋義雄幹事長を中心に7月、8ダムのうち貯水容量が最も大きい八木沢ダム(群馬県みなかみ町)などを視察し、今後の対策を協議しました。私も視察団の一員として、八木沢ダム管理事務所で貯水量などの現状について説明を受けた後、アーチダムの堤頂からエレベーターで、約100m下のダム底部まで降り1200万都民の水を支える堤体や、その内部を視察し、関係者と意見を交わしました。渇水に強い都市づくりへ努力を続けていくことの大切さを改めて認識しました。



八木沢ダムの底部で関係者と意見を交わす吉倉(左から4人目)

## 首都の災害対策を万全に 淡水化装置、水門など視察

東京都の災害対策の強化に取り組んでいる都議会公明党は10月10日、江東区にある淡水化装置の実証試験場(エヌワイケー(株)、近藤信行代表取締役)と、同区にある東京港防災事務所(都港湾局、渡辺滋所長)を視察し、関係者と意見を交わしました。これには私をはじめ長橋桂一、上野和彦ほか各都議が参加しました。実証試験場では、災害時に海水などを淡水化して、飲料水を供給する装置が稼働している様子を視察。案内役の近藤代表取締役は、「世界で唯一のオゾンを用いた装置だ。トラックで搬送できるコンパクトなサイズで、一日100トンほどの処理が可能」と強調。現在、アラブ首長国連邦(UAE)から受注していることなどを説明。続いて、一行は東京港防災事務所を訪れ、渡辺所長の案内で、同所が所管する辰巳水門と辰巳排水機場などを見て回りました。



辰巳水門で関係者より説明を受ける吉倉(左から5人目)



**クローズアップ**

**首都の  
震災対策**

10月5日、都議会第3回定例会が終了しました。都議会公明党は、首都直下地震の切迫性が指摘されるなかで、震災対策について、特に緊急を要する住宅の耐震化、木造密集地域の不燃化推進を主張しました。新潟県中越沖地震の被災現場を調査した経験から、私が今回の都議会公明党の主張をレポートします。

**中越沖地震被災地を視察 ～新潟・柏崎市～ 都議会公明党 復興への要望聞く**

都議会公明党は、石井義修副議長を中心に、8月29日新潟県中越沖地震被災地の柏崎市を訪れ、柏崎商工会議所や被災商店街等を回り、復興への要望を聞きました。都議会公明党として、今後の支援に加え、東京都の大きな課題である、震災対策を検討することが目的。これには私のほか、友利春久、小磯善彦、上野和彦らの各都議が参加。

一行は初めに、柏崎商工会議所を訪問。松村保雄会頭らは中心商店街が損壊し、一店当たり平均513万円の被害があることや、東京電力柏崎刈羽原子力発電所に関連した風評被害の深刻さを説明。

同原発が、東京の消費電力の大きな部分を占めてきたこともあり、「都知事が柏崎に来て「原発は安全だ」と言ってほしい」との発言もありました。私は、国も含め、さらなる支援が必要との思いを強くいたしました。



写真説明 被災の甚しい住宅地を視察する都議会公明党議員団。(右から5人目が吉敷)

**都議会第3回定例会代表質問より**

**■死者の半減などの「減災目標」達成のために、住宅の耐震化を加速せよ**

**【質問】**

経済的負担や住民の高齢化から耐震化が進まない原因を踏まえ、現行制度の活用や組合せ、さらに親子二世帯住宅への助成金割増しなど、新制度を創設し、耐震化率の目標を達成すべきである。

**【都市整備局長の答弁】**

耐震化の気運を高める仕組みや、都民が耐震化に取り組みやすい環境の整備など、耐震化を加速する方策について総合的に検討する。

**【質問】**

木造密集地域は、自力での建替えや更新が出来ない実情がある。可能な地域では、民間活力により地域全体の再開発をし、強力に不燃化を推進すべきであり、都もこれに支援すべきである。

**【都市整備局長の答弁】**

都市計画道路の整備と沿道のまちづくりを進める沿道一体整備事業や、防災街区整備事業など民間開発を誘発する事業手法などを効果的に組み合わせ、木密地域の安全性の向上に積極的に取り組んでいく。

**■「緊急地震速報」を活用した避難訓練を実施すべき**

**【質問】**

「緊急地震速報」の一般提供の開始に合わせて、都はこれまで以上に都独自の周知・広報を推進していく必要がある。また、都庁舎全体で同システムを活用した防災訓練を実施すべきである。

**【総務局長の答弁】**

気象庁の本格実施を踏まえ、TV・ラジオの提供番組や広報紙、ホームページなど、都の様々な広報手段を活用し、一層の周知を図っていく。また都庁舎における自衛消防訓練の機会ととらえ、緊急地震速報システムを活用した避難訓練を年内に実施する。

**実現しました!**

**平成22年に完成  
都営地下鉄新宿線「曙橋」(あけぼの橋)駅に  
いよいよエレベーターが設置されます**

現在エレベーターが無いと、高齢者の皆様や、お体の不自由な方々、あるいは小さなお子様連れのお母様たちより、強い設置要望をいただいて参りました。今年2月8日、私は、豊嶋正雄・鈴木ゆきえ・小松政子各区議、さらに地元町会関係者の皆様とともに、松澤敏夫都交通局長(当時)あてに要請を行いました。

このほど、都交通局より平成20年度に工事着手し、平成22年に完成するとの説明がありましたのでご報告致します。今後も地元の皆様に喜んでいただけますよう全力で取り組んで参ります。

**都営バスの通し運行が実現**

**～小滝橋車庫より都立障害者センターまで～**

大久保・西戸山・高田馬場地域の方々より強い要望のありました都営バスのダイヤ変更について、都交通局に要請した結果、皆様のご要望通り実現致しましたのでご報告致します。

これは、平成20年4月より、通学区域外の仮校舎に通学する西戸山中学校の生徒の安全を確保するため、生徒が登下校する時間帯に「小滝橋車庫より高田馬場駅まで」運行している「高71系統」の路線バスについて、「小滝橋車庫より都立障害者センターまで」の区間を通し運行できるようダイヤ変更を実現させたものです。生徒や父母の皆様より喜びの声をいただいております。